

上高地ケショウヤナギ希少個体群保護林

管轄森林管理局・署	中部森林管理局 中信森林管理署
所在地	長野県松本市
面積	50.90 ha
設定年月日	平成3年3月31日（平成30年再編）
保護林の概要 （設定目的）	ケショウヤナギは昭和3年に我が国で最初に発見され、国内では長野県上高地周辺の限られた地域と北海道にのみ分布する希少樹種であるため、ケショウヤナギの群落及びケショウヤナギが更新可能な氾濫原となる砂礫地を保護することを目的とする。



モニタリング調査の概要

実施年度	令和5年度
調査項目	森林詳細調査、森林概況調査、資料調査、聞き取り調査
調査手法	森林詳細調査（毎木調査・植生調査）を4プロット、森林概況調査として植物相調査・定点写真撮影を実施し、過年度の調査結果と比較した。
結果概要	増水時の攪乱によりケショウヤナギの実生が定着できなかった箇所や、林床が安定することで他樹種の群落に遷移している箇所など、ケショウヤナギの更新が期待できない箇所が一部で存在するものの、明神橋～徳沢間の河原には若齢ケショウヤナギが発生しており、保護林全体としてケショウヤナギの更新は健全に推移しているとみられる。 近年の台風等の増加や、夏場の渇水が河川植生に影響が及ぼす可能性が考えられるため、今後も定期的にモニタリングを継続することが重要である。

※モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。